

平成30年度 北区地域・ボランティア応援助成

～寄附をいただいた方々へのありがとうメッセージ～

みなさまからいただきました赤い羽根共同募金、賛助会費、寄附金を財源として、北区地域・ボランティア応援助成を行いましたので、ご報告いたします。今回は少額助成（3万円以下）を受けられた団体のみなさまです。

北区本読会

(読み聞かせとライアの演奏)
アンプ(ライア用)、朗読用
本4冊(26,521円)

アンプを購入させていただきました
ありがとうございました。小型
で持ち運べるので大変助かりま
した。学区のコミセンでの給食
会等で使用させていただき活用
しています。

グループ・ムクムク

(読み聞かせ)
パネルシアター用道具一式
(28,980円)

セットは持ち運びにとっても便利
で、大型絵本の読み聞かせにも利
用しております。おやこ広場、高
齢者サロン、給食会等幅広く活用
し地域の方に喜んで頂きました。
ありがとうございました。

ナーナーラサークル

(フラダンス披露・小物作り)
小物作り用(布・リボン・ボ
ンド代)(14,400円)

小物を手作りし、毎月施設に
行き、お誕生日の方に渡してい
ます。とても喜んでくださいま
す。助成金で小物の材料を購入
させていただき、感謝していま
す。

ボランティアグループ 「チルドレン」

(おもちゃ図書館)
おもちゃ、材料の購入
(30,000円)

「出会い、触れあいを大切
に！」をモットーに地域の子ども
親御さんたちに支えられ活動し
てきた30年でした。今後ともよ
ろしくお願い致します。助成金あ
りがとうございました。

ミュージックメイト

(ギターとバイオリン演奏と歌)
歌唱集(楽譜)、歌謡集、コーラ
ス歌集(参加者用)(29,994円)

コーラスやサロンの支援に使
用させていただいております。
参加者から多くの曲から好きな
曲を選ぶことができ、歌詞の字
も大きく、きれいで見やすいと
大変喜んでいただいています。

ミュージズ城北

(オカリナ演奏)
オカリナのイラスト入り
Tシャツ12枚(20,520円)

グループ名入りのTシャツを
揃えることができ、訪問先の施
設でグループ名を覚えて頂きま
した。今後も心を込めた演奏を
するため、練習に励んで参りま
す。ありがとうございました。

その他：なごみの会(歌・演芸)：アンプ一式購入 24,000円 ・()内金額は、助成決定額です。

防災まめ知識

～その19 災害ボランティアについて④～

～南海トラフ巨大地震がやってくる!? 私たちにできること その19～

被災された方との向き合い方について

被災された方は、心身ともに大きなストレスを感じています。ボランティア活動を行うにあたり、どのようなことに気を配ればいいのか、以下にまとめました。

◎元気に、笑顔で

まずは明るく元気なあいさつから始めましょう。暗い表情で嫌々活動をしていると、ボランティアをお願いした方も心苦しくなり、気を遣います。

◎傾聴する、気持ちを受け止める

話を聴くときは、その方に寄り添い、受け入れ、受け止める気持ちで耳を傾けましょう。被災者が言葉として自分の気持ちを外に出すことは、気持ちを整理する作業になり、被災者のストレス軽減にもつながります。ただし、話したくない方がいることも理解し、無理に話を聞き出すことはないようにしましょう。また、困りごとなど抱えておられるようであれば行政、ボランティアセンターに相談いただくよう伝えましょう。

◎「頑張って」は言わない

「頑張って」という言葉は、つい口にしがちですが、被災者はすでにこれ以上頑張れないほど頑張っています。この言葉は極力使わないようにしましょう。

『防災まめ知識』は、名古屋きた災害ボランティアネットワークさんのご協力による、防災関連のまめ知識についての連載です。気軽に読めて、ためになって楽しいコーナーです。



つながるななが

つなぐつながるでは、高齢者、障がい者、子ども、ボランティア団体などの当事者同士の「つながり」や、地域での「つながりあい」を紹介しています。

今回、取材させていただいたのは、聴覚に障がいのある方と一緒に手話の学習を行う、『手話北』です。代表の三谷さん、通訳の福王寺さんにお話を伺いました。

◆「手話北」の誕生とはじめたきっかけについてお聞かせください

今年でなんと20年になります！20年前に、手話講座を終えた方々から、「次はどこで勉強したらいいですか？」などと、相談を受けていました。何か出来ることはないかと、考えていたところ、お世話になってきた手話通訳者さんより、「やってみたら？」と背中を押してもらったのがきっかけで、平成11年2月「手話北」はスタートしました。私以外にももう一人ろう者にご協力いただき、一緒に始めました。最初の生徒は、講座を修了した方が中心で24名もいらつしやってくれました。

◆現在の参加者は？

すでに20年も経ちますので、メンバーは入れ替わり、現在の受講者は13人です。

教える側は、私以外に3人います。いろいろな手話を見ることができて勉強になると思います。見学者や、講座を受けずに学習を始める方のために通訳者が1人います。

◆学習方針をお聞かせください

まず、ろう者、難聴者とのコミュニケーションを取ることを目標に、出来る限り『わからないまままで終わらせない』ようにしています。聴こえない人と聴こえる人の文化との違いもあり、また日本人は、なかなか聞き直せないという性格の方も多いと思いますが、何度聞いていただいても大丈夫です。できることなら、分らないときは、積極的に手を挙げてほしいです。

◆どんな勉強をしていますか？

『表現する』ために、簡単な単語、日常的に使われる短文を作り、みんなと一緒に手を動かしながら繰り返し動きを身につけていきます。短文が表せるようになったら学習者同士、次は聴覚障害者を相手にして、手話で会話にしていきます。もちろん、表せないときは、口を大きく開けて話してもらえれば私が口を読み取り、その都度、手話を学んでもらいます。

◆「読み取り」についてお聞かせ下さい
聴覚障がい者3人が、最近あったこと、知ったことなどを手話で話します。長文になると難しいので、一文ずつ区切りながら読み取っていきます。なかなか読み取れませんが、毎週毎週続けていくうちに、皆さん少しずつ慣れていってもらえればいいと思います。

◆これからの手話北についての思いをお聞かせください

「勉強」も大事ですが「あつという間の2時間だった」と思われるよう、楽しく笑って聴覚障がい者とのコミュニケーションが少しでも出来たら良いと思っています。手話や口話（唇を読む、発音練習した）の聴覚障がい者と、日本語で育った聴こえる方が少しずつ歩みよることも大切です。ゆくゆくは、聴こえる人が『新しいこと、ニュースなど』を聴覚障がい者に提供したり、聴覚障がい者が、『どんなとき、どんな所でどうサポートしてもらえると不安が減るのか？』などを話しあって、立場の違う人同士が繋がりがあえたら幸いです。そのためは、一步一步、少しずつ勉強しながら楽しんでいけたらと思っています。

◆メンバーの方の声

サークルにお邪魔し、みなさんに感想を伺いました。入会して1年目の方からは、「最初は緊張しましたが、会のみなさんに温かく迎えていただきすぐに溶け込みました。居心地がよく、ずっと続けているような気持ちになります。」永年続けておられる方からは、「手話で日常会話をされている方の読み取りはまだスピードが速く感じ、理解するのが難しいですが、会では三谷さんを中心にゆつくりと基本的な表現を教えていただけなのでとてもありがたいです。」と感想を伺いました。その他、毎回新しい発見がある、何回でも聞ける雰囲気があるという感想をいただきました。なごやかでやわらかい空気の中で、会のみなさんが手話を一生懸命学ばれている様子が印象的でした。



『手話北』のみなさん

楽しいイベントもりだくさん\(^o^)/

イベント情報・募集

北区の様々なイベント情報を掲載するコーナーです。掲載依頼、問合せは、下記連絡先まで

電話 915-7435

Fax 915-2640



ふくちゃんきたちゃんボランティア委員会
●プチサロンふくちゃん・きたちゃん●
～ふくしがきた 開催します～

ボランティアサロン&セルプ製品販売会を開催。“プチサロンふくちゃんきたちゃん”は、北区のみなが楽しく交流し、つながる場です。

▽日時 3月12日(火) 11時～15時

▽場所 北区役所内講堂

▽内容

- ① セルプ製品（障がいのある方が心をこめて作った自主製品）の販売、事業所紹介
- ② 飲食コーナー（パン、お惣菜、クッキー、コーヒー、ジュース）など
- ③ ミニ教室（タオルで作る可愛いワンちゃん）
- ④ 展示（フレンドリークラブ作品）
- ⑤ ボランティア・団体・サロン活動発表会
- ⑥ 歌声演芸サロン

▽主催 ふくちゃんきたちゃんボランティア委員会

▽問合せ ☎：915-7435

北区社会福祉協議会 担当：山田

フレンド愛

●フレンド愛 バザーのお知らせ●

地域ふれあいバザーを本年度も開催します。おいしいパウンドケーキ、おでん、コロケ、遊休品など。みなさん、お越してください。お待ちしております。（バザー一品提供も大募集！）

▽日時 3月17日(日) 10時～14時

：雨天決行

▽場所 フレンド愛 事業所内

（北区清水2-2-9 フレンド愛）

▽問合せ ☎：931-5453 担当：小牟礼

愛知調理専門学校

●『愛調祭』開催●

美味しいお料理を作り、みなさまをお待ちしています！

▽日時 3月2日(土)

10時～14時

▽場所 愛知調理専門学校にて

（北区上飯田西町3-46

上飯田駅より徒歩1分）

▽内容 卒業作品展示、模擬店、カフェコーナー
ビストロ、春彩弁当、入学相談 など

▽問合せ ☎：981-2773

担当：古野



↑ 昨年の卒業展示作品

昨年の模擬店の様子
→



矢田住宅自治会

●移動販売のお知らせ●

移動販売車がやってきます。ご家族、近隣の方どなたでも買い物できます。野菜・果物販売いたします。

▽日時 毎週火曜日 14時～17時

：雨天決行

▽場所 県営矢田住宅（北区山田4丁目）

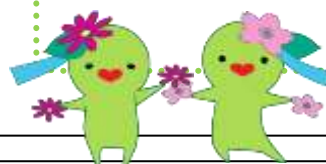
移動販売車：ボンマルシェ de ファーム

▽販売物 野菜・果物が中心

▽問合せ

北区社会福祉協議会

☎：915-7435



きたくのキラッとさん

『きたくのキラッとさん』とは、北区で生活する“人”にスポットを当て、記事にするコーナーです

川中学区在住の和田豊治さんは、広告紙で作った体操棒のご寄附や高齢者はつつ長寿推進事業にて健康講座を実施いただいています。特に、健康講座は、自作の資料(冊子)を作成され、レクリエーション、脳トレ、歌、講話など様々なメニューでみなさんを楽しませ、多くの人に生きるパワーを与えてくださっています。

○ボランティア活動を始めた時期ときっかけについて教えてください。

平成12年、65歳で定年を迎える1年半前から、生涯学習(ボランティア)について通信教育で学び始めたのが最初です。受講のきっかけは、定年後の人生を考えた時に「自分は地域のことを全然知らない。少しは勉強しておこう」と思ったからです。振り返れば、当時の勤め先の社長が「生涯勉強だ！」と繰り返し言われていたことや、父の行いを見て育ったことが影響しているかもしれませんね。父は船舶業であり家にいませんでしたが、帰ってくると近所の子どもの壊れた傘などを修理してあげるような、きめ細やかな気配りのできる方でしたから。

講座終了後は、13年半の間、週3回程名古屋市障害者スポーツセンターでテニスのボランティアに携わっていました。テニスは学生時代に経験があり、よく知っていました。障害について3日間の講義を受けて、テニスと一緒に楽しむことを中心に、ボール拾いなどをしたり、一緒に大会にも行きました。また、テニス以外でも会員の親睦を深めるため、韓国で日本語の指導をしていた先生を中心に一緒に韓国の踊りを踊って楽しむこともありました。このボランティアを通じ、ポッチャやカローリングという障がい者が楽しむスポーツについても知ることができました。

それと並行して、生涯学習センター主催の『健康体操教室』で知り合った仲間47名で「仲間がいるから頑張れる」を合言葉に自主グループを立ち上げました。会の名前は『ストレッチ体操愛好会』です。14年間継続するも講師の健康上の都合にて解散せざるを得なく、終止符を打ちました。解散後、絆を大切にしたい有志による月一度の食事会を開催していますが、年々人数は減少し現在は7名ほどになっています。さらに、あいち生涯学習の会(ASIの会)に7年ほど在籍し副理事を務め、生涯学習に関する活動に参加して報告したり、活動者を取材し月1回発行の広報も担当しておりました。ASIの会で学んだことを自主グループで披露する形でさまざまな学びを实践で活かしつつ継続していましたね。

○自治会の活動についてはいかがでしたか？

定年して自治会に入り、役員を務めさせていただいて初めて『地域の方がいるから安心して毎日を過ごさせてもらえるのだ』ということに気づき、感謝の念でいっぱいになりましたね。会社勤めの頃は、会社と家の往復がほとんどで、自治会の活動について『地域の方々がやってくださっているな』という印象だけでした。自治会の活動を通じ、なんでも食わず嫌いではいけないと思いましたね。箸をつけて初めて「あ、おいしいな」「思ったよりおいしくないな」と感じるのですから、なんでもまずやってみることが大事だと感じました。老人クラブ(現なごやかクラブ)でも活動の一環として毎週、地域の公園清掃なども行っていましたね。

○これからの目標や願い、読者の皆さんへのメッセージをお聞かせ下さい。

現在は、以前よりずいぶん体力が落ちてしまいましたので、健康であることが一番、それ以上の望みはないというのが正直な思いです。ただ、定年後にボランティア活動や地域活動を積極的に行ったことで、様々な知識を身につけさせてもらったと思いますし、人脈を広げることができたことにとっても感謝しています。現在は、食事会になっている自主グループの集まり会も、集まるとなんでもない話で元気になります。顔を見るだけで嬉しいですから。もし定年後、何もしなければ何も起こることはなく、ただ時間が過ぎてそのまま終わってしまっていたのかなと思います。

特に男性は定年後、閉じこもりがちの方が多くはないかと思いますが、孤独になってはいけないと思います。地域活性のためにも是非勇気を出して地域に出て、できれば能動的に活動してほしいと願っています。そうすれば、自分自身も得るものがたくさんあると思いますよ。

和田さん、ありがとうございました。男性の地域活動への参加促進について、北区の地域福祉活動計画策定でも話題にあがっています。取材を通じ、地域活動、ボランティア活動は地域のためになるだけでなく、自身が知識を身につけたり、感謝の気持ちや喜び、充実感などが得られるものであるということを確認できました。北区の男性の方々に、定年後の第2の人生を豊かなものにしていただくために、これからも地域活動の推進に努めていきたいと思いました。



和田 豊治さん